

(附錄)

五八

藩名	所	在地	石高	舊藩主氏名
宮川	阪田郡南郷里村大字宮司	一萬三千石	堀田豊前守正義	
朝日山	東淺井郡朝日村大字山本	五萬石	水野直次郎忠弘	
大溝	高島郡大溝町	二萬石	分部若狭守貞光	

第一九 跡

琵琶湖ト近江八景

琵琶湖ハ往古淡海ト云ヒ又爲ノ海ト云フ連山西面ヲ圍繞シ八百八川ノ流チ湛ヘ青山碧水相映シ風光明媚日本ノ公園ナ以テ目セラル、所以ナキニアラザルナリ南北十七里東西六里狹キ處ハ一里ニ滿タズ湖中ニ四島アリ奥、沖、多景、竹生ト云フ共ニ八景以上ノ風致ナ有シ其他湖畔ノ眺望到ル處トシテ佳ナラザルハナク名勝枚舉ニ違アラズ八景ハ明應九年近衛關白此地ニ遊ビ瀟湘八景ニ擬シテ撰シタルモノ

ノナリ

三井晩鐘

石山秋月

堅田落雁

栗津晴嵐

矢橋歸帆

比良暮雪

唐崎夜雨

勢田夕照

大津市 東ハ膳所町ニ南ハ山ヲ繞シテ京都府宇治郡山科村ニ接シ西ハ長等山ヲ負ヒ北ハ湖面ヲ隔テ、遠ク比良比叡三上ノ諸山ヲ望ム戸數六千三百人口四萬一千町數九十有七商賈櫛比シ百貨輻輳ス東海道ノ要衝ニ當リ古來湖水ノ利ニヨリテ東山北陸ノ來往ニ便シ西陸路ナ通ジテ京阪ニ達シ頗ル其繁盛ナ致セリ明治二十三年運河ナ開鑿シ西京都ニ達セシ以來一層ノ便ナカズ北村落ニ接スル所疏榮ナ出スコト甚ダ多ク就中大津ハ素ヨリ工業ナ以テ誇ルベキ地ニアラズト雖モ製麻會社アリ麻布ノ産出少ナカズ北村落ニ接スル所疏榮ナ出スコト甚ダ多ク就中大津蕉ノ名世ニ著ハル縣廳、歩兵第九聯隊、地方裁判所、區裁判所、稅務署、郵便局、警察署、小林區署、市役所、其他ノ官公署學校等ア

(附錄)

五九

(附錄)

六〇

リ此地古クハ相津ト稱セシガ天智帝都セラル、ニ及ビ之ヲ大津ニ改メラルサレド大津ト稱スルハ今ノ滋賀郡滋賀村邊ヲ指セル者ニテ當地ハ尙寂寞タル一漁村ニ過ギザリシニ後年羽柴秀吉坂本廢城ヲ茲ニ移シテヨリ漸次人家稠密シ以テ今日ニ至レリ

東浦ニアリ明治十九年七月工事ニ着手同二十一年六月竣工敷地ハ東西百七十九間南北七十四間一分面積一萬三千二百六十五坪餘ナリ湖岸今ノ警察署附近ナリト云フ天正年間豊臣秀吉坂本廢城ヲ爰ニ移シテ築城シタルモノニシテ文祿四年京極高次爰ニ封セラレ祿六萬石ヲ賜フ

琵琶湖水ヲ引用シ舟楫ノ便ヲ謀リ併セテ工業用動力ニ供セン爲メ明治十四年時ノ京都府知事北垣國道ノ計畫スル所ニシテ十八年六月起工式ヲ舉ゲ二十三年四月竣工式ヲ舉行シ 天皇 皇后御陛下ノ臨幸ヲ辱フセリ水路ノ三保ヶ崎湖岸ニ起り逢坂山ヲ開鑿シテ京都市鴨川

大

滋賀縣廳

大津城趾

疏水運河

津

東岸ニ至ル此延長六千百七間ニシテ工費百拾九萬圓人夫ヲ役スルコト四百萬人年ヲ閱スルコト四年八ヶ月ナリト實ニ我國未會有ノ一大工事ト云フベシ

大津市西端ニアリ天安二年大友與多王 弘文天皇ノ勅ヲ奉ジテ建立シ貞觀十年智證大師ニ賜ハリ之レヲ開祖トス境内ニ清泉アリ 天智天武 持統三帝降誕ノ際產湯ニ供セシナ以テ世俗ニ御井寺ト稱シ後世山内ヲ三井寺ト總稱ス古ハ僧房八百五十ナ數ヘタリシモ今ハ僅ニ中院十二坊北院十二坊南院十九坊ヲ存スルノミ境域頗ル幽靜閑雅ナリ

村上天皇第三皇子致平親王剃髮シテ圓滿院ノ宮ト號ス爾後歷朝ノ皇子相承ケ在住アリシ殿舍ナリ所藏ノ什寶多ク殊ニ圓山應舉ハ當年ノ侍臣タリシナ以テ其筆跡頗多ク就中七難七福ノ圖卷ハ眞ニ稀世ノ珍卷ニシテ今ハ國寶トナレリ

園城寺背後ノ山腹ニアリ明治十一年車駕御巡幸ノ際コヽニ登臨アラ

御幸山紀念碑

市

圓滿院

園城寺

(附錄)

六一

(附錄)

六二

セラレシ所紀念碑ハ即チ西南ノ役歩兵第九聯隊ノ殉難者ナ弔セルモノニシテ明治十年ノ建設ナリ

園城寺境内ノ山腹ニアリ一三三井寺觀音ト云フ延久四年智證大師ノ開基ニシテ大師自作ノ觀音像ナ安置シ後三條天皇ノ勅願所ニシテ又西國三十三番靈所ノ一ナリ境内頗ル眺望ニ富ミ近クハ大津市遠クハ唐崎坂本ノ勝區比良比叡三上ノ諸峯ナ一眸ノ中ニ收メ風光絕佳ナリ近江八景ノ一ニシテ而モ其最タルモノナルベシ

三井寺や日は午にせまる若楓

蕉村

圓滿院境内ニアリ往古源三位賴政以仁王ト軍議ナ凝セシ所ニシテ庭園ニ老松アリ流松ト稱シ其名高カリシモ三十七八年戰役ノ際俘虜收容所ニ充テシ時惜ム可シ名木ナ失ヘリ金堂ハ創設頗ル古シ現今ノ建造ハ豊臣秀賴ノ建立ニ成ル本尊彌勒佛ハ支那僧ノ南岳大師ノ禪室ニアリシ像ニテ後百濟國ニ傳ハリ我邦ニ傳來ス用明帝之ヲ尊重セラレ天智天武ノ二帝ニ傳ハリ朱鳥元年之ヲ當地ニ安置スト云フ

善法院ト
金堂

津

古鐘堂	園城寺境内ニアリ俗ニ辨慶ノ引摺鐘ト稱シ其名人口ニ膾炙ス傳ヘ云フ印度祇園精舍ノ鐘ニシテ轉々茲ニアリト
大鍋	園城寺境内釋迦堂内ニアリ世ニ辨慶ノ汁鍋ト云フモノ是ナリ往昔大衆ノ炊事ニ用ヒシモノ、如シ廻リ一丈五尺アリ
高觀音	長等山腹ニアリ三井寺五別所ノ一ニシテ寺チ近松寺ト云ヒ本尊ハ千手觀音智證大師ノ作ナリト云ヒ山チ連不テ尾藏寺ニ至ル是レ亦五別所ノ一ニシテ十一面觀音チ安置ス像ハ國寶ナリ此邊一帶櫻楓樹多ク眺望甚ダ佳シク遊覽者踵チ接ス
長等公園	園城寺跡地境内微妙寺境内地ト高觀音一帶ノ地トノ間ニアル峠地チ長等公園ト稱セリ大津市ノ經營ニ屬シ目下尙完成ニ至ラズ規模小ナリト雖自然ノ風光佳麗ナルチ以テ亦筇チ曳クニ足ル
長等山	一名志賀山ト云フ市ノ西方ニ聳エ南、逢坂山ニ連リ北、比叡山ニ接ス山勢高カラズト雖モ古來有名ナリ又滋賀村大字山中ヨリ南志賀ニ出ヅル道チ志賀ノ山越ト云フ共ニ古歌多シ

(附錄)

六三

(附錄)

六四

さゝなみや長等の山の花さかり
志賀の浦かせ吹かすもあらなん
櫻花みち見えぬまで散りにけり
いかゞはすべき志賀の山越

師俊

成元

嵐ふく志賀の山への櫻花

公行

れば雲井にさゝなみをたつ

大津市ノ南端ニアリ昔武内宿禰が忍熊王ト交戦ノ日憶リナク此地ニ出逢ヒ大ニ敵軍ヲ破リタルヲ以テ逢坂ト呼アト日本書記ニ見エタリ逢坂山ニアリ關利ヲ置カレシハ 桓武天皇都ヲ平安城ニ奠メ玉ヒシ時設ケラレタリトイフ伊勢ノ鈴鹿美濃ノ不破ト共ニ之ヲ三關ト稱シ其名世ニ著ハル文德實錄天安元年ノ條逢坂ノ關守十二人又寺門ヨリ刃壇象二十人出デ、兵具鎧重ニ鎔リ金剛力士ノ如ク忿怒、眼ヲ張テ双ヒ居ルトアリ又日本紀畧ニ延暦十四年閏七月近江國相坂ノ關利ヲ廢トアリ爾後久シク廢レタリシガ永祿八年江陽屋形(佐々木家)江西

市	
逢坂山	津
逢坂關趾	
逢坂山	
逢坂山ニ新關ヲ建テ山内十兵衛尉ナシテ之ヲ固守ラシ	
メタル後又之ヲ廢ス	
音羽山音にきゝつゝあふ阪の	
せきのこなたに手をふるかな	
色かはるみのゝ中山秋こえて	
また遠さかるあふさかのせき	
上片原町ニアリ祭神二座一座ハ猿田彦命一座ハ蟬丸ノ靈ナル祭ル此邊	
蟬丸ナ祭ル社多シ	
三井寺下鬱蒼タル森林ナ背景トシ高樓近ク疏水涯頭ナ壓シ起ルモノ	
是レナ滋賀縣物産陳列場トナス明治三十五年五月起工シ翌三十六年	
チ以テ竣功ス敷地總坪數四千六百一坪建坪二百九十六坪餘ナ有シ階	
下ハ縣内ノ物産ヲ即賣シテ顧客ノ需ヘニ應ジ階上ハ専ラ參考品ナ陳	
列シテ產業開發ノ資料ニ供ス	
長等山ノ麓ニアリ三十九代弘文天皇ノ御陵ナリ天皇御名ハ大友天智	
陵等山前	

(附錄)

六五

新羅義光墓

天皇ノ皇子御母ハ伊賀采女宅子姫大津宮ニ都ス大海人皇子兵ナ舉ゲ
テ來攻シ皇軍利アラズ遂ニ此ニ崩ス在位八ヶ月
長等山麓ニアリ源義光新羅三郎ト稱ス賴義ノ子ナリ左兵衛佐トナリ
テ京都ニ宿衛ス永保三年兄義家ノ清原武衡ト戰ヒ利アラズト聞クヤ
官ナ捨ア赴キ救フ後刑部少輔ト爲ル晩年入道シテ園城寺ニ居リ大治
二年卒ス音律ニ長シ特ニ笙ナ善クス

天孫神社

大津市四ノ宮町ニアリ祭神彦火々出見尊國常立尊大己貴命帶中津日
子尊ノ四座ナリ延暦年中ノ創立ニシテ末社十二社アリ世ニ四宮ト稱
ス祭典ハ毎年十月十日ニシテ山鉢ヲ出シ壯麗ナ極ム
馬場町義仲寺ニアリ義仲ハ義賢ノ子ナリ木曾山中ニ生長シタルナ以
テ自ラ木曾冠者ト稱ス壽永三年平氏ナ追フテ京都ニ入り亂暴狼籍ナ
極メシカバ源賴朝弟範頼義經ナシテ之レヲ征討セシム義仲義經ノ軍
ナ宇治ニ防ギテ利アラズ去テ粟津ニ出デ範頼ノ軍ト戰ヒ又敗績シテ
逃走ノ途次馬水田ニ陷リ遂ニ石田爲久ノ爲ニ射殺セラル時ニ年三十

源義仲墓

二、天文二十二年六角義實爰ニ一字ナ建立シテ義仲庵ト稱セシガ後
義仲寺ニ改メタリ

義仲寺ニアリ翁併諸ナ以テ天下ヲ歷遊シ其次此寺ニ住シ芭蕉ナ栽エ
幽栖セリ一歳西國ニ遊バントシテ大阪ニ下リ痢疾ナ得テ遂ニ船塲御
堂前花屋ノ客舍ニ歿ス時ニ元祿七年知命ナ過ケル僅ニ一歳門人其角
丈艸ノ徒數輩棺ヲ難波ヨリ擔ナ此ニ葬ル蓋遺言ニ基ク也寶曆十年ノ
頃京都ノ俳人五中菴蠶夢四方ノ俳士ニ檄シテ此草室ヲ創シ芭門三十
六人ノ秀句ナ集メ其門弟子ノ血縁ノモノナ求メテ之レヲ書セシメ堂
内四方ニ懸ケタリ芭翁遺愛ノ椿杖及漫遊圖卷此寺ニ藏ム
又追分繪ト云フ元祿年中大津又平ト云ヘル者戲畫(鬼ノ念佛、奴ノ槍
持・藤娘等)ナ筆シテ粗末ナル彩色ナ施シ之ヲ大谷追分邊ニ出デ、販
賣セルニ往來ノ旅人爭ヒ求メ之レヲ僻地ニ持チ歸リテ尊信スルトキ
ハ靈験アリトテ世上一般ニ流布シタリト之レ大津繪ノ元祖ナリ俳人
芭翁が粟津無名庵ニテ詠ミタル句アリ

(附錄)

六八

膳所町	大津繪の筆の始めは何佛
膳所城趾	大津ノ南岸ニ沿フテ蜿蜒一里ニ垂ントスル市街ナリ本多氏六萬石ノ舊城市ニシテ往古ハ陪膳濱ト云ヒ人家ナク漁夫魚ヲ捕リ天子ニ獻ジ又濱邊ニ田ナ開キ稻ナ種エ天子ノ御供ニ供フ即チ天智天皇大津宮ニ在マシ、時御厨ノ地ニシテ御物ナ獻ズル所ナリシト云フ其後濱田村ト稱セシが後膳所ト改メタリ現今戸數千二百、人口六千三百ヲ有シ滋賀縣師範學校膳所中學校アリ

湖岸ニアリ今監獄署トナレリ當城ハ慶長六年徳川氏ノ大津廢城ヲ移シ關西諸侯ニ課シテ築造セシモノニシテ東西二箇所ニ總門ヲ設ケ其西方ナ大津口ト稱シ其東方ナ勢田口ト稱シ其間二十四町アリシト本多氏累世ノ居城ニシテ古來有名ナリ

栗津原 膳所町ノ南一帶ノ地ナ云フ近江八景ノ一ニシテ亭々タル青松ハ街道ヲ狹ミテ湖濱ニ連り颯々タル松籜聞クニ堪ヘタリ壽水ノ昔木曾義仲

賀 郡	勢多橋	石山寺
ノ古戰場ニシテ義仲及其將今井兼平等此ニ戰死ス兼平ノ墓ハ栗津原南田畠ノ間ニアリ碑石ハ膳所城主本多下總守俊次ノ建ツル所ナリト云フ	近江八景ノ一ニシテ世ニ唐橋ト稱シ其名噴々タリ瀬田川ニ架スルモノニシテ中間ニ島ナ狭ミ長短二橋アリ大橋九十六間小橋二十七間幅各四間ニシテ南ニ石山北ニ大湖ナ望ミ橋上ノ風色真ニ秀麗ナ極ム勢多川ノ流漸ク幅員ナ狭メテ正ニ溪流ノ域ニ入ラントスル處西岸一帶ノ丘陵綠樹叢鬱トシテ堂影其間ニ隱顯シ青碧玲瓏ノ水ニ映ズ加フルニ巨石怪巖諸堂ノ間ニ横ハリ其奇名狀ス可カラズ然ルニ石ナ以テ顯レズシテ却テ月ナ以テ著ハル此地由來近江八景ノ一ニ居リ京洛ナ去ル四里山水明媚ノ一境ナルナ以テ都人士ノ杖ナ曳クモノ多シ、寺ハ則チ石山ノ上ニアリ石光山石山寺ト號シ西國十四番ノ札所タリ天平勝寶中僧良辨ノ開基ニシテ承暦二年回祿セシモ源賴朝之ナ再興シ後又荒廢セシナ淀君之レナ修補ス今ノ本堂即チ之レナリ又本堂ノ傍	

(附錄)

六九

(附錄)

七〇

郡	滋
唐崎	南郷洗堰
高穴穂宮	立木觀音
志賀都舊	瀬田川ニ設置セルモノ琵琶湖ノ流水ヲ加減按配スル所ニシテ内務省ノ直轄ニ屬シ激烈ナル水勢落下スル状實ニ壯觀チ極ム
城寺ハ即其舊址ナリ	勢多川ノ西岸山腹ニアリ往古弘法大師此地ニ來リ立木ニ佛像ヲ彫刻セラレシナ其儘ニ安置シテ一字ヲ建ア、尊信セルナリト近時賽各頤ル多ク香煙常ニ絶ユルコトナシ
さゝなみや志賀の都はあれにしを 昔ながらの山櫻かな	滋賀村大字錦織ニアリ天智天皇六年三月大和飛鳥ノ岡本宮ヨリ爰ニ遷都シ志賀大津宮ト稱シ給フ十年九月天皇不豫ナリ十二月終ニ扇御シ給フ因テ大友皇子即位シ給フ之レヲ 弘文天皇ト稱シ奉ル然ルニ後壬申ノ亂起リ天皇之ニ扇御シ給ヒケレバ皇叔大海人皇子即位（天武天皇）セラレテ後都ヲ大和ニ遷サセ給ヒ以後廢墟トナル 天智天皇在都ノ砌多クノ櫻樹ヲ植エ志賀花園ト稱シ叡覽アソバサレメ今園
忠度	
芭蕉	

(附錄)

七一

郡	唐崎	高穴穂宮	城寺ハ即其舊址ナリ
			さゝなみや志賀の都はあれにしを 昔ながらの山櫻かな
			忠度
			阪本村大字穴太ニアリ景行天皇五十八年大和郷向ノ宮ヨリ都ニ此ニ遷サセ給フ皇祖神武天皇ヨリ十二代景行天皇ノ末ニ至ルマデ都ヲ大和ニ定メ給ヒシガ此時始メテ他國ニ移り給フ而シテ成務天皇六一年間コヽニ都セラレシガ仲哀天皇ノ御代ニ至リ長門國豐浦宮ニ遷サセ給ヘリ
			大津市ヲ距ル北一里餘ニシテ稀世ノ老松アリ世ニ唐崎ノ一ツ松ト稱ス天正年間新莊駿河守直頼ノ栽ル所ナリト云フ枝幹八方ニ盤亘シ翠蓋地ヲ掩フ樹下ニ祠アリ琴御館宿禰ノ妻ナ祭ル近頃風雅ノ士護松會ヲ設ケテ之レガ培養ニ努メツヽアリ
	唐崎の松ば花より臘にて	芭蕉	
雨霽唐崎夜	驚濤激偃松		

(附錄)

七二

滋	日吉神社
比叡山	湖心探明月 下有未眠龍
延暦寺	比叡山麓坂本村ニ鎮座セル官幣大社ニシテ大山昨神ヲ祭祀ス往古ハ大比叡神社又ハ山王權現トモ稱ス天智天皇ノ御代創建スル所ニシテ後比叡山延暦寺ノ鎮守トナセリ舍殿ノ結構壯麗ニシテ本殿及樓門ハ現ニ特別保護建造物ナリ境内頗ル廣闊ニシテ幽邃ヲ極ム
大津市ノ西北城江二州ニ跨リ海拔二千八百尺頂上ナ四明嶽ト云フセト日枝又ハ比江ト書セシナ桓武天皇延暦年間傳教大師延暦寺ヲ興隆セラレシナ以テ之ナ比叡ニ改メタリト又平安城ノ東北ニ當ルナ以テ良峯トモ稱シ支那ノ例ナ以テ天臺山、四明洞トモ云フ又鷲山我立袖トモ稱フ	
比叡山腹ニアリ天臺寺總本山ナリ歴代朝廷ノ尊信渥ク屢々行幸アリ然ルニ元龜二年織田信長僧徒ノ横暴ヲ憎ミテ火ヲ放チテ攻メケレバ本邦無二ノ名刹モ忽チニシテ鳥有ニ歸シタリ然レニ後主羽柴秀吉之レガ再興ナ計リ堂宇ヲ改造シタリシナ以テ稍舊觀ヲ復スルニ至レリ	

郡	堅田町
坂本城址	郡ノ中央湖面ニ突出シテ野洲郡ト相對スル所之ナ堅田町トナス往古爰ニ關ナ置キテ湖上往來ノ船ヲ検査シタル所ナリト云フ風光明媚ナリ
森可成墓	比叡山東南ニアリ元龜元年織田信長比叡山延暦寺ヲ滅ボシ寺領ヲ收メテ之ナ明智光秀ニ賜ヒ城ヲ此ニ築カシメテ城主トナシ祿十萬石ナ與フ天正十年光秀叛シテ信長ナ京師本能寺ニ弑シ歸途小栗柄ニ殺サルルヤ従弟光春此ニ築城シ堀秀政ノ軍ト戰ヒ遂ニ戰死シ城亦陷ル下坂本村大字比叡辻來迎寺域内ニアリ可成織田信長ニ任ヘテ功アリ元龜元年淺井長政朝倉景鏡等ノ來襲ニ遇ヒ苦戰最モ努メタルモ遂ニ戰死ス
浮御堂	堅田ノ一名區ニシテ海門山滿月寺ト號シ禪林ノ一刹ナリ一條天皇ノ御代僧惠心ノ草創ニ係ル湖岸ヨリ十餘間ノ湖中ニ方形ノ小堂ヲ建ツ故ニ浮御堂ノ名アリ惠心自ラ刻スル所ノ彌陀佛ノ像千體ヲ安置ス中古ノ兵亂其幾部分ヲ失フ一僧之ヲ憂ヘ自ラ關佛ヲ刻シテ之レヲ補フ

(附錄)

七四

ト云フ此地近江八景ノ一ナリ

鎮あげて月さし入れよ浮御堂

桃青

峯あまた越てこしづに先ちかき

かたゝになひき落るかりかね

近衛時熙

堅田町大字今堅田ニ在リ内侍ハ新田義貞ノ室ナリ 後醍醐天皇ノ侍

姫ナリシが義貞王事ニ盡シ、偉功ニヨリ之レヲ義貞ニ賜フ建武四年

義貞越前ニ出陣スルヤ内侍留マリテ此地ニアリシが義貞藤島ニ戰死

セシト聞キ悲痛ノ餘身ヲ湖中ニ投ジテ死ス土入之レヲ憐ミ死屍ヲ得

テ爰ニ葬ルト傳フ

和邏村ニアリ小野妹子ノ舊跡ナリト由緒頗ル古ク小野篁ト道風ヲ祀

ル社各一座アリ社殿ハ特別保護建造物トス

比叡山裳主山ニアリ望之ノ子古今集ノ撰者ニシテ土佐守タリ天慶九年

没ス明治三十八年從二位ヲ贈ラル

比叡山ノ北ニアリ海拔三千五百尺周圍十有五里ニ達ス山頂ハ寒冷ニ

賀

小野

紀貫之墓

比良山

滋

勾富内侍

墓

桃青

近衛時熙

シテ樹木ナク茅篠叢生ス初冬ヨリ中春マデ高峰雪ヲ絶タス銀光湖上ニ映ズ比良ノ暮雪ハ亦タ八景ノ一ナリ藤井竹外ノ詩ニ「雪白比良山一角、春風猶未到江州」ノ句アリ

雪はるゝ比良の高ねの夕くれは

花のさかりにすくるころかな

小松崎
白鬚神社
シテ樹木ナク茅篠叢生ス初冬ヨリ中春マデ高峰雪ヲ絶タス銀光湖上ニ映ズ比良ノ暮雪ハ亦タ八景ノ一ナリ藤井竹外ノ詩ニ「雪白比良山一角、春風猶未到江州」ノ句アリ

雪はるゝ比良の高ねの夕くれは

花のさかりにすくるころかな

小松村ニアリ比良川ノ下流ニ當リ湖中ニ突出スル所ナリ古記録ニ依レバ古松二株アリ湖上ノ船舶ノ目標トスト今ハ湖岸一帶青松翠ヲ競ヒ風光明媚ナリ春夏ノ候大綱ヲ曳キ鱈ヲ漁スルコト多シ

高島郡境ナル明神崎ニアリ今ナ距ルコト凡千九百餘年前垂仁天皇ノ創立シ給フ所ニシテ猿田彦命ヲ祭レリ社殿ハ古松老杉參差タル山麓ニアリ前面碧瑠璃ノ如キ琵琶湖ヲ望ミ眺望頗ル佳ナリ

郡

太栗郡

瀬多川

琵琶湖ノ末流ニシテ滋賀郡界ヲ南流スルコト大凡三里許山城ニ入りテ宇治川トナル川ハ甚大ナラザレニ水流極メテ急迅ニシテ下流最モ

(附錄)

七五

(附錄)

七六

狹キ所ハ奇岩怪石川チ埋メ水勢之ニ激シテ奇觀チ極ム是所謂鹿跳米
漸岩ノ稱アル所以ナリ

昔仲哀天皇ノ皇子忍熊王ノ武内宿禰ト逢坂山ニ戰ヒ其敗ル、ヤ茲ニ
來リテ入水シ給ヘルコト史上ニ見ユ其他河畔ハ古來幾多ノ戰場タリ
シコトアリ其後同川浚渫ノ際河底ヨリ古兜廢刀等ナ出セリ

老上村大字野路ノ地昔時ノ驛舍ニシテ頗繁盛ノ地ナリシモ世變り
時移リテ今ハ空シグ道傍ノ一池僅ニ野路ノ玉川ノ名ナ止ムルノミ昔
萩ノ名所トシテ又日本六玉川ノ一トシテ多ク和歌ニ詠セラレシ處ナ
リ

あすもこむ野路の玉川萩こえて
色ある波に月やとりけり

俊 賴

大小二橋中島ナ合シテ百九十六間ニシテ古來宇治山崎ト共ニ日本三
大橋ノ名アリ南ニ石山北ニ湖水ナ望ミ橋上ノ風色秀逸ナ極メ所謂八
景ノ一ナリ昔時東西両部ノ戰ニ際シ西軍ノ東軍ナ防ヶ必ズ此橋ニ於

栗 太 野 路

瀬田橋

郡 草津町 建部神社

テス橋ノ右ニ龍神ノ祠アリ承平ノ昔俵藤太龍神ノ請ニヨリ三上山ノ
蜈蚣ヲ射殺シタリト後秀郷ノ子孫橋ナ過ゲル毎ニ下馬シテ小柄扇子
等ナ水中ニ投ズ然ラザレバ必ズ雨降ルト云ヒ傳ヘリ

鳩の海かすみてくるゝ春の日に

渡るもとほし勢田の長橋

郡ノ首邑ナリ戸數一千六十人口五千六百ナ有ス東海線ト關西鐵線ト
ノ分歧點ニシテ交通頻繁ナリ名產ニ竹鞭又ハ姥ヶ餅アリ古來其名著
ハル郡役所稅務署警察署ノ諸官衛アリ

瀬田村大字神領ニアリ官幣大社ニシテ日本武尊天明玉命大己貴命ノ
三神ナ合祀スマト神崎郡建部郷ニアリシナ白鳳四年茲ニ遷座シタル
ナリト永曆元年三月二十日源賴朝平家ノ爲メニ伊豆ニ左遷セラル、
途次從士姫源吾盛安ト共ニ當社ニ參拜シ行路ノ安全ナ祈禱セリト
因テ建久元年賴朝征夷大將軍トナリ西上スル時亦茲ニ詣フテ勢多郷
三百戸ナ寄付セリト云フ其他軍兵ノ隨地トナリ又兵發ニ權リシコト

(附錄)

七八

矢橋浦	少ナカラズ實ニ縣下著名ノ一大社ナリ 老上村大字矢橋ニ在リ湖上一里半ナ距テ、大津市馬場打出濱ト相對 ス往古ハ來往ノ旅客皆此路ニ據リ船舶ノ出入頻繁チ極メタルモ鐵道 ノ通ジタルト近時山田港ヨリ汽船ノ定期航路開ケタル爲メ昔時ノ面 影ヲ失ヘリ矢橋ノ歸帆ト稱シ近江八景ノ一ニ數ヘラレシハ昔時交通 頻繁ノ光景ヲ謠ハレタルモノニシテ風色今モ専昔ニ讓ラズ 真帆引て矢橋に歸る舟は今打出の濱をあの追風
太栗	大石氏邸 址 勢田城址 瀬田村大字瀬田ニアリ建武中山岡影房ノ築ク所其裔美作景隆ニ至ル マデ世々此ニ居ル景隆織田信長ニ仕ヘ屢々軍功アリ光秀ノ叛スルヤ 家康堺浦ヨリ急ニ東シ途瀬田ヲ過ギル景隆前導シテ信樂ニ至ル士民 道ヲ塞グ景隆討テ之ヲ敗ル今臨江菴ト名クル一字アリ境内山田城廬

郡	洲	野	郡	佐久奈度神社	金勝寺
三上山	三上村ニアリ歌枕三神ニ作リ蜈蚣山近江富士等ノ名アリ海拔一千四百十一尺甚ダ高カラズト雖モ平野ノ間ニ屹立シ其形略々富士山ニ似タルナ以テ其名高ク秀郷ノ傳説ハ蜈蚣山トシテ亦其名ヲ擅ニセシメタリ山腹妙見堂アリ晚春之ニ登リテ瞰望スレバ田圃一帶菜花ノ金波チ打千遙ニ琵琶ノ青藍ト相映ジ快云フベカラズ	ノ碑及景隆ノ墳アリ 大石村大字東ニアリ 天智天皇ノ御代右大臣中臣ノ創立延喜式社ノ 一ナリ瀬織津姫命、秋津姫命并吹戸主命ヲ祭ル 金勝村大字荒張ニアリ天平五年僧貞辨ノ開基聖武天皇ノ勅願所ニシテ本尊丈六釋迦坐像ナリ嵯峨天皇勅シテ菩薩式儀ヲ修行セシメ仁明天皇燈火料ヲ施入セラレ金勝ノ勅額ヲ賜フ天曆中宣符ヲ下シ四至ニ亂入シ溢行并ニ檢田收納雜役ヲ禁制セラル徳川氏ノ世荒張ノ内三十石ヲ領ス	大石村大字大石中ニアリ大石氏元佐々木氏ニ屬シ玄良以來權内ニ至ルマデ此地ニ住ス權内ノ子貞雄淺野氏ニ仕ヘ義士ノ名ヲ留ム 瀬田村大字瀬田ニアリ建武中山岡影房ノ築ク所其裔美作景隆ニ至ルマデ世々此ニ居ル景隆織田信長ニ仕ヘ屢々軍功アリ光秀ノ叛スルヤ家康堺浦ヨリ急ニ東シ途瀬田ヲ過ギル景隆前導シテ信樂ニ至ル士民道ヲ塞グ景隆討テ之ヲ敗ル今臨江菴ト名クル一字アリ境内山田城廬	ノ碑及景隆ノ墳アリ 大石村大字東ニアリ 天智天皇ノ御代右大臣中臣ノ創立延喜式社ノ 一ナリ瀬織津姫命、秋津姫命并吹戸主命ヲ祭ル 金勝村大字荒張ニアリ天平五年僧貞辨ノ開基聖武天皇ノ勅願所ニシテ本尊丈六釋迦坐像ナリ嵯峨天皇勅シテ菩薩式儀ヲ修行セシメ仁明天皇燈火料ヲ施入セラレ金勝ノ勅額ヲ賜フ天曆中宣符ヲ下シ四至ニ亂入シ溢行并ニ檢田收納雜役ヲ禁制セラル徳川氏ノ世荒張ノ内三十石ヲ領ス	大石村大字大石中ニアリ大石氏元佐々木氏ニ屬シ玄良以来權内ニ至ルマデ此地ニ住ス權内ノ子貞雄淺野氏ニ仕ヘ義士ノ名ヲ留ム 瀬田村大字瀬田ニアリ建武中山岡影房ノ築ク所其裔美作景隆ニ至ルマデ世々此ニ居ル景隆織田信長ニ仕ヘ屢々軍功アリ光秀ノ叛スルヤ家康堺浦ヨリ急ニ東シ途瀬田ヲ過ギル景隆前導シテ信樂ニ至ル士民道ヲ塞グ景隆討テ之ヲ敗ル今臨江菴ト名クル一字アリ境内山田城廬

(附錄)

八〇

千早振三上の山のさかき葉は
さかへそまさる萬代までも

信能

御上神社
三上山麓三上村ニ鎮座ス祭神天御影神ハ孝靈天皇六甲三上山上ニ降
臨アリシト傳フ當時祠ヲ山上ニ建テ、之ヲ祭リタリシガ養老元年此
ニ遷座シ圓融天皇ノ勅願所トナル源賴朝足利尊氏等當社ヲ奉信シテ
神田神領ヲ付セシコトアリ後文明十八年兵燹ニ罹リ本社樓門ヲ除ク
外悉ク焼失セシヲ天文中六角氏之ヲ再建シテ舊觀ニ復セシメタリト
本社樓門ハ特別保護建造物タリ

眞宗木邊派ノ本山天安二年慈覺大師ノ創建ニ係ルモト天台宗ナリシ
が嘉祐年中親鸞阿彌陀像ヲ安置シ念佛道場トナル四條天皇天神護法
錦織寺ノ號ヲ賜フ後花園天皇ノ御代德地宮入住アリ爾後淮門跡ノ勅
許ヲ受ク大師堂ハ元祐中將軍ノ命ニ依リ再建阿彌陀堂ハ文政八年ノ
再營宮御殿ヲ東山天皇ヨリ常御殿ヲ拜領シタルモノナリ末寺五十餘
アリ

野洲

錦織寺

洲

郡

平宗盛墳

篠原村大字大篠原東端邱上松アルモノ之ナリ天暦二年宗盛父子義經
ニ伴ハレテ鎌倉ニ送ラル賴朝簾ヲ隔テ、之レヲ見ル宗盛類ニ哀ナ乞
フ賴朝復タ義經ニ命シ之レヲ護シテ西上セシム義經此地ニ來リ終ニ
宗盛父子ヲ斬ル

野洲川

甲賀郡ヨリ來ル横田川ノ下流ニシテ野洲町竹生地先ニテ分流シ一ハ
吉川一ハ今濱ヨリ湖ニ注ゲ幅員廣キ處五町ニ達ス湖東著名ノ大川ニ
シテ史上古戰場トシテ其名ヲ留ム

野洲川ノ東中仙道ニ沿フ戸數六百人口三千六百ナ有シ古來晒布ノ產

出ヲ以テ有名ナリ郡役所アリ又爰ヨリ分岐シテ東北ニ通ズルチ朝鮮
人街道ト稱ス昔織田信長安土在城ノ時朝鮮人ノ來往シタル道ナリト
云フ

足利義昭
遺趾

玉津村大字夫島ニアリ足利義昭始メ僧トナリ南都ニ居ル兄義輝ノ弑
セラル、ヤ免レテ此地ニ來リ居ル後信長ニ奉セラレテ足利十五代將
軍トナル

(附錄)

八一

(附錄)

八二一

甲	野洲郡	三船塚	淡海毛野
水口町 水口城址	東海道ノ一驛加藤氏二萬五千石ノ舊城市ニシテモト美濃部村ト稱セシヲ大水口命此ニ居住シテヨリ水口ニ改ムト云フ戸數千六百人口七千七百餘ナ有シ郡ノ首邑ニシテ商工ノ業盛ナリ郡役所警察署稅務署甲賀銀行等アリ名產簾細工ハ一名水口細工トモ云フ近時海外ニ輸出シツ、アリ	三上山麓ニアリ淡海三船ハ葛野王ノ孫典籍ニ通ジ勅ナ奉ジテ神武帝以來持統帝ニ至ルマデ歷代ノ謚號ヲ定ム延暦四年七月卒ス年六十四三上山麓ニアリ毛野繼體帝ノ時勅ナ奉ジ兵六萬ノ將トシテ任那ヲ征ス歸途病沒ス	

郡	賀
善水寺	保良舊都
内裏野	吸ミテ帝ニ奉ル帝ノ御惱忽癒ニ勅シテ號ヲ善水ト賜フ爾後歷代ノ勅願所タリシト傳フ本尊藥師如來ナリ
妙感寺	雲井村大字勅旨ニアリ淳仁天皇天平寶字五年都ナ近江ノ保良ニ遷サレタル地ナリト天平寶字八年惠美押勝叛シ帝又廢セラレテ淡路ニ流サレ尋デ崩ズ
同村大字黃瀬ニアリ聖武天皇ノ離宮紫香樂宮ノ在リシトコロ又此附近ニ帝ノ建立シ給ヒシ甲賀寺アリシト	三雲村大字三雲ニアリ元弘建武ノ忠臣藤原藤房ノ開基ナリト藤房後醍醐天皇ニ隨從シ事平ラゲノ後僧トナリテ往ク所ナ知ラズト云フ故ニ此地亦傳說ノ一ニ數ヘラル卿隱栖ノ後此山ニ分ケ入り寺ヲ創メ一 首ノ歌ヲ詠ズ
世のうさをよそに三雲の奥深く	

(附錄)

八三

(附錄)

八四

てる月影や山すみの友

留錫十年康暦二年遷化ス壽八十五ナリト傳ヘラル
今ノ雪井長野多羅尾ノ諸村落ヲ昔ハ信樂莊ト呼ブ陶器產出ナ以テ古
來著名ナル地ナリ近年其業益々盛トナリ年額貳拾參萬七千圓ニ達シ
全國到ル所需用アリ海外ニモ亦多少輸出セラル

甲 賀 郡

信 樂

蒲 郡

八幡町

往古ハ宇津呂郷ノ内馬場村ト稱スル寂寃タル一寒村ナリシが天正十
四年豊臣秀次八幡山ニ城ヲ築キシヨリ遂ニ繁盛ナル一市街トナルニ
至ル戸數千五百人口六千六百ナ有シ郡役所警察署稅務署縣立商業學
校八幡銀行等アリ疊表綿帆布蚊帳生糸等ノ產出盛ナリ
八幡町ニ在リ寛弘二年ノ創立ニシテ神功皇后玉依比賣ノ合祀ス祭典
ハ毎年四月ニシテ古式ノ渡御アリ遠近ヨリ參詣スルモノ非常ニ多ク
雜沓ナ極ム

安土城趾

安土山上ニ在リ天正四年織田信長茲ニ築城シテ七層ノ天守樓ヲ設ク

東西十七間南北二十間高十六間半臺趺十二間我國天守樓ノ嚆矢タリ
然ルニ天正十年明智光秀ノ亂ニ徒弟光春ノ爲メニ燒棄セラレ遂ニ廢
城トナル又山下ハ當時繁盛ナル市街ナリシガ後之レチ八幡山下ニ移
ス今ノ八幡町之ナリ

登安土城廬

賴三樹

安土壟高雲裡攀 蔽縱化作老禪關

晚霞如火人回首

一點青螺認叡山

郡 生

郡

長命寺

東西十七間南北二十間高十六間半臺趺十二間我國天守樓ノ嚆矢タリ
然ルニ天正十年明智光秀ノ亂ニ徒弟光春ノ爲メニ燒棄セラレ遂ニ廢
城トナル又山下ハ當時繁盛ナル市街ナリシガ後之レチ八幡山下ニ移
ス今ノ八幡町之ナリ

郡

(附錄)

八五

鏡山

鏡山村大字鏡ノ南ニアル山ナリ山高カラズト雖モ登リテ湖水ヲ望メ
バ宛然鏡ニ對スルガ如シ古詠多ク世ニ傳フ

鏡山いさ立よりて見てゆかん

黒主

行く年を鏡の山の冬の月

見る影さへに雪りなきかな

順徳院

老蘇村ニアリ或ハ追初又息磯ノ字ヲ用ウ古歌ノ名所ニテ今モ紅葉或
ハ新緑ノ候頗ル景趣ニ富ム近時鎌宮ノ境内ニ隣接シテ公園ヲ設ケ多
クノ櫻樹ヲ植栽セシカバ花時第ナ此ニ曳クモノ多ク勝區一段ノ妙ナ
加フ鎌宮ハ延喜式神名帳載スル所ノ奥石神社ナリト云フ祭神ハ天兒
屋根命今本殿ハ特別保護建造物ニ指定セラル

東路の思ひ出にせん時鳥

おひそ森の夜半の一聲

大江公資

涼しさに老その森の下なれと

忠房

生

蒲

老蘇森井

郡	
市邊押盤	市邊押盤
皇子墓	皇子墓
水莖岡	水莖岡

なつてふことをわすられにける

市邊村ニアリ昔ハ「コボシ塚」ト稱シ東西ニ基アリ明治八年兆域ヲ定
メラル皇子ハ顯宗帝ノ御父ニシテ雄略帝ニ害ゼラレテ薨ズ

岡山村大字牧ニ屬シ俗ニ岡山ト云フ湖中ニ一島アリ岩石突兀トシ
山上ニ滿チ湖中ノ一奇觀ナリ永正八年將軍義澄此山ニ薨スト舊記ニ
見ユ古歌ニ詠スル所ノ水莖ノ岡之レナリ傳ヘ云フ往昔巨勢金岡此地
ニ來リ風景ヲ畫カントス其絶勝到底筆力ノ及ブ所ニアラズトテ筆ナ
拋チタリ夫ヨリ水莖ノ岡ト云フト傳フ

みづくきの岡のくすはも色付て

今朝うらかなり秋の初風

讀人知らす

安土村大字慈恩寺ニアリ廐戸皇子ノ開基ニシテ本尊ハ彌陀佛ナ安ズ
文和中六角氏賴之ナ崇信シ代々ノ香華院トナス後兵火ノ爲シ焼亡シ
僅カニ樓門ヲ残スノミ僧隆堯之ヲ中興シテ全勝山淨嚴院ト號ス織田
信長安土ニ城クニ及ビ信ズル所ノ僧明威ナシテ此ニ居ラシメ本堂方

(附錄)

八八

丈ナ修理シ令チ國申ニ布キ淨土宗ノ寺ハ總テ之が末寺タラシム是ヨリ念佛ノ道場トナル本堂ハ多賀ノ彌陀堂ナ移セシモノ今特別保護建造物タリ
 観音寺山ニアリ佐々木季定ヨリ承禎義治マデ十八代四百年間居城ノ地ニシテ殘礎尚峯ナ達リ壘々トシテ存ス織田信長足利昭徳援ヶテ上洛ノ時之ナ攻陷シ義賢父子國ナ捨テ、逃亡ス箕作山古城趾亦蒲生神崎ノ郡境ニ在リ佐々木承禎永正十六年ナ以ア之ナ城キ子義賢ナシテ此ニ居ラシメタルモ觀音寺城ト共ニ織田氏ノ爲ニ攻陷セラル
 観音寺山ニアリ聖德太子ノ創立西國第三十二番ノ札所モト佐々木氏ノ崇敬セシトヨロ僧坊七十餘院アリシト云フ觀音寺城陷落ノトキ共ニ兵燹ニ罹リシガ慶長中稍舊觀ニ復ス
 西大路村大字音羽ニアリ蒲生智開ノ居城ニシテ庭石井戸等ノ跡アリ今ハ之ヲ修メテ公園トナス眺望佳ナリ
 中野村大字中野ニアリ蒲生氏歴世ノ居城ナリ氏鄉豊臣氏ニ仕ヘテ戰趾
 中野古城

音羽山古
 城趾
 中野古城

郡	崎 神	郡
八日市町	鬼室集斯墓	功アリ天正十二年南勢五郡ノ地十二萬石ナ賜ハリ之ニ移リ城廢ス 東櫻谷村大字小野ニ在リ天智天皇ノ世百濟ノ歸化人鬼室集斯等七百餘人ナ此地ニ移シ田ヲ給シ居ラシム集斯學識アリ學頭ナ授ケラル子孫室徒ト唱ヘ現今家數十九ナ算ス墓碑ハ高サ一丈六尺左ノ如ク刻ス 右朱鳥三年戊午十一月八日歿
石馬寺	正面 鬼室集斯墓 左 庶孫美成造	八日市ト名クト今ヤ郡ノ首邑トナリ毎月二、五、八ノ日ニ市ナ開ク警察署アリ戸數千百人口五千六百ナ有シ商業盛ンナリ 南五箇村大字石馬寺ニアリ往古聖德太子諸國布教ノ砌此地ニ來リ馬ナ松樹ニ繫ギ登山セラレシ間ニ馬逸シ池中ニ沒ジテ化石セリ仍テ寺ナ興シテ石馬寺ト云フト

(附錄)

八九

(附錄)

九〇

瓦屋寺	神崎郡
中仙道ノ一驛站昔ハ神崎郡ニ屬セシテ後愛知郡ニ編入セラレタリ依智ノ名ハ市ノ義ナリトノ說アリ此地古來ヨリ市場ナリシモノカ、郡役所警察署アリ麻布ノ產地ナリ又古詠アリ	愛知川町
愛知川に岩こす棹のとりもあへす 下す筏のいと早きかな 紅葉ヲ以テ其名著ハレタル臨濟宗本山永源寺ハ愛知川ノ上流高野村ニアリ僧寂室開基佐々木氏賴創建永祿中火ヲ失シ一時大ニ衰ヘシガ後水尾帝佛頂國師ニ勅シテ之ヲ中興セシメ給フ古來有名ナル巨刹ナリ	永源寺
寺ハ愛知川ノ東岸山腹ニアリ滿山楓樹ニシテ秋季ニ至レバ紅雲錦	

知	郡	郡上犬
花ノ木	百濟寺	彦根町
金剛輪寺	金剛輪寺	彦根町
泰川村大字松尾寺ニアリ天平十三年僧行基ノ開基聖武天皇ノ勅願所ナリシト傳フ今天台宗ニ屬ス本堂ハ方七間鎌倉時代ノ建營ニシテ樓門鐘樓僧院等古刹ノ面影ヲ有ス 琵琶湖畔ニ在リ井伊侯三十五萬石ノ舊城下ニシテ戸數三千五百人口	泰川村大字松尾寺ニアリ天平十三年僧行基ノ開基聖武天皇ノ勅願所ナリシト傳フ今天台宗ニ屬ス本堂ハ方七間鎌倉時代ノ建營ニシテ樓門鐘樓僧院等古刹ノ面影ヲ有ス 琵琶湖畔ニ在リ井伊侯三十五萬石ノ舊城下ニシテ戸數三千五百人口	泰川村大字松尾寺ニアリ天平十三年僧行基ノ開基聖武天皇ノ勅願所ナリシト傳フ今天台宗ニ屬ス本堂ハ方七間鎌倉時代ノ建營ニシテ樓門鐘樓僧院等古刹ノ面影ヲ有ス 琵琶湖畔ニ在リ井伊侯三十五萬石ノ舊城下ニシテ戸數三千五百人口

(附錄)

九一

(附錄)

九二

大

彦根城址

二萬一千餘街衢整然トシテ商家甍ヲ列ヘ其繁華ナルユト湖東第一位ニ居レリ郡役所、警察署、區裁判所、稅務署、郵便局、測候所、等ノ諸官衙ヲ始メ縣立中學校、女學校、町立工業學校、公立病院、米穀取引所、其他銀行會社等亦尠カラズ物產ニハ刺繡、漆器、銅器、佛壇、屏風、生糸、足袋等其重ナルモノニシテ就中佛壇最モ世ニ著ハル

上

佐相山城

金龜山上ニ在リ慶長九年井伊直勝ノ築ク所ニシテ其天守樓ハ京極高次ノ大津廢城ナ移シタルモノ茲ニ登臨スレバ琵琶湖ヲ一望シテ風光快絶ナリ又西城三層樓ハ淺井長政ノ小谷城ヨリ天秤樓門ハ豊臣秀吉ノ長濱城ヨリ移轉セシモノニシテ井伊氏十五世二百五十餘年間ノ居城ナリシナ王政維新ノ際廢城シタルモノナリ

彦根東方ノ丘岡之ナリ石田三成ハ坂田郡ノ人奇才アリ秀吉ノ知遇ヲ受ケ從五位下治部少輔トナリ佐和山十八萬石ナ領ス秀吉ノ薨後家康ナ除カントシテ慶長五年關ヶ原ニ戰ヒ遂ニ敗レ伊吹山中ニ匿レシガ捕ヘラレ京都ニ斬ラル翌年井伊直政ニ此城ナ賜ハリシモ水利便ナラ

樂々園及
八景亭

ズトシテ之レチ廢シ別ニ彦根ニ築城ス

樂々園ハ金龜城ノ北麓ニアリ舊彦根藩主井伊氏ノ別業ニシテ其建築數奇ナ凝シ山水ノ眺望佳ナリ館ハ元槐御殿ト稱セシガ近時樂々園ト呼稱スルニ至レリ八景亭ハ其隣接ニアリ井伊氏ノ舊庭園ニシテ古立宮園ト稱ス内湖ノ水ヲ引キテ池ナ湛ヘ泉石ノ布置近江八景ニ摸セルモノナリ

多賀村大字多賀ニ在リ東ハ近ク三國八尾ノ諸山ヲ望ミ芦川淙々トシテ其下ヲ流レ老杉古檜鬱然トシテ繁茂スル處神殿常ニ拍手ノ音清シ延喜式ニ多何神社ト云ヒ又日之少宮ト云フ諾冊二尊ナ祀ル古來武門ノ崇敬淺カラズ豊臣秀吉北政所ノ延命ナ祀ルノ願狀今ニ現存ス德川氏ノ代社領三百五十石アリ外ニ井伊侯ヨリ百五十石ヲ寄附セラレシ爲メ攝社末社ノ社殿諸堂ノ備亦完シ明治十八年四月官幣中社ニ列セラル社頭常ニ賽客ノ踵ナ絶タズ

一二床ノ山トモ書ク千本村大字正法寺ニアリ山麓ニ鳥籠ノ池アリ共

(附錄)

九三

(附錄)

九四

犬

水產試驗

ニ古歌ニ詠ゼラレテ有名ナリ

妻戀ふる鹿そなくなるひとりねの

讀人知らず

上

あたにちる露の枕にふしわひて

鶴なくなる床の山かせ

俊成女

福満村大字平田ニ在リ明治三十三年四月ノ創設ニ係リ水產ニ關スル各種ノ試驗ナ行フト共ニ鯉魚孵化兒一千三百萬尾ナ得ベキ設備ナシツヽアリ其他金龜城外壕ヲ利用シテ附屬養魚池トナシ本場ニ於テ孵化シタル鯉兒ナ養成シ以テ琵琶湖ニ放流シ其繁殖ニ努メツヽアリ

多景島

陸岸ナ去ル五十町ノ湖中ニアリ周圍五町岩嶼屹立シテ松樹竹篠其申ニ繁ル明暦中見塔寺ナル庵ナ縛シタルコトアリ島上景趣ニ富ム故ニ多景島ノ名アリト云フ

西明寺

東甲貢村大字池寺ニアリ仁明天皇ノ勅願ニ依リ僧三修ノ開基スルモ

坂

郡

伊吹山

ノナリ三年天皇此地ニ御幸アリ西明寺ノ勅額ナ下シ諸堂坊舍ナ建立
スト云フ後天正元年織田氏ノ兵燹ニ罹リ堂舍多ク焼失ス今本堂寶塔
十七字ナ有ス

郡
田
坂

醒井

伊富貴、膽吹ノ字ナ用ウ美濃ニ跨リ海拔四千五百尺縣下第一ノ高山
トス 景行天皇ノ御世日本武尊東夷征伐ノ歸途妖神アリト聞キ山ニ
登リテ之ヲ征シ給フ神巨蛇トナリテ路ニ横ハル尊一跳シテ之ヲ過ギ
給ヒシニ遂ニ毒氣ニ感ジテ伊勢ニ薨シ給フト山ハ中腹以上草生ニシ
テ樹木ナシ傳ヘテ言フ織田信長南蠻寺ヨリ來リシ外人ヨリ藥草ノ種
チ得テ之ヲ植エシムト今藥草多ク伊吹艾ノ名世ニ著ハル
一一居醒泉ト云フ中山道舊驛醒井ニアリ昔日本武尊妖賊ナ退治セ
ント欲シ伊吹山ニ登リ山神ノ毒氣ナ受ケ苦惱甚シキヨリ山下ニ出テ此
清泉ナ掬ヒテ御腦ナ冷シ給ヘリ是ヨリ醒井ト稱シ著名ナルニ至レリ
湖北最大ノ都邑ニシテ戸數二千二百六十人口一萬二千二百人家稠密

(附錄)

九五

(附錄)

九六

水陸交通ノ便備ハリ商工業ノ盛ナルコト縣下第一位ヲ占ム濱縮縄、蚊帳、真綿等此地ノ名産タリ郡役所、警察署、區裁判所、稅務署ノ諸官衙縣立農學校、町立實科高等女學校、二十一銀行、貯金銀行、糸米取引所アリ八幡神社ハ延久元年源義家ノ創立スル所ニシテ毎年九月十五日祭典ヲ行フ其祭禮縣下各社中最モ壯麗ヲ極ムルヲ以テ遠近ヨリ來觀スルモノ頗ル多シ

長濱城趾
湖邊ニアリ大正元年信長淺井氏ヲ滅シ秀吉ニ其故地ヲ賜フ秀吉即チ今濱ニ城キ長濱ニ改ム本能寺ノ變淺井氏ノ舊將阿閉長之長濱ヲ攻メテ之レヲ取り遙カニ光秀ニ應ズ秀吉ノ妻摯伊吹山ニ遁ル長之後光秀ニ從ヒ敗死スルヤ柴田勝家長濱ヲ畧シ義子勝豊ナシテ之ヲ守ラシム秀吉之ヲ招降シ賤ヶ嶽ノ一戰勝家ヲ敗リシヨリ爾後佐和山ノ屬城タリシガ徳川氏ニ至リ内藤信成ナ此地ニ封シ改築セシモ後奥州棚倉ニ移封シ城遂ニ廢絶ス

入江村大字朝妻筑摩ニアリ大藏神稻倉魂神ヲ祭ル始メハ岩脇村ノ石

社都久麻神

田坂

佛山下ニアリシヲ後此地ニ移シ御食料神ヲ合祀スト云フ這ハモト大膳職御厨ノ地ナリシニ因ル而シテ祭神稻食ヲ掌リ給フヨリ往古里女婚スレバ必ず鍋ヲ被リテ神幸ニ列シ若シ不幸再婚又ハ三婚スレバ其婚數ニ應ジテ鍋數ヲ重ネタリシガ今ハ其風俗廢セラレ唯八人ノ少女紙製ノ鍋ヲ戴クノミ古來筑摩祭又ハ鍋釜祭リト稱シ俳人歌人ニ詠唱セラル、モノ是ナリ

近江なる筑摩の祭とくせなん

業平

つれなき人の鍋の數みん

鳥居本村大字下矢倉ト息郷村大字番場トノ間ニアル一小山ナリ嶺上ニ望湖亭アリ之ヨリ西湖上ヲ望メバ竹生島ハ白波萬頃ノ間ニ立千假山ノ如ク湖西ノ連山ハ青螺ニ似タリ風光秀絶亦湖北ノ一勝ナリ柏原村ノ西丘陵ノ上ニアリ具行後醍醐帝ニ親近セラレ累進シテ從三位權中納言トナル帝北條高時ヲ誅セント謀リ給ヒ具行ニ命ジ兵ヲ徵サシム事敗レ帝笠置ニ幸ス具行捕ハレ此ニ斬ラル

(附錄)

九七

郡

磨鍼嶺

源具行墓

(附錄)

九八

坂	田	德源院
東	小谷城址	
蓮華寺	柏原驛ノ西北六町清瀧山ニ在リ京極氏信以後十八世ノ塙城ノ在ル所ニシテ天台宗ニ屬ス	陵廣姫皇后
後鳥羽天皇ノ遺蹟	俗ニ皇后塚トモ云フ廣姫ハ敏達天皇ノ皇后ニシテ息長宿禰ノ女ナリ此ニ崩ス	
息鄉村大字番場ニアリ關ヶ原ノ戰家康此ニ陣シ寺祿ヲ附ス元弘中北條仲時ノ隨士四百餘名京都ヨリ落チ來リ此ニ自殺ス		
西黒田村大字名越ニアリ惠光山常喜院ト號ス正治元年後鳥羽上皇密ニ此寺ニ行幸アリ北條氏討滅ヲ謀リ給フ寺僧禪行専ラ其事ニ參與ス還幸ノ際禪行眞影ヲ請ヒ後鳥羽殿ヲ建立シテ之レナ奉安ス		
明治十一年今上陛下後鳥羽神社號ヲ賜ハリ新ニ社殿ヲ造營ス		
郡ノ中央屹然トシテ海拔千六百尺ノ高度ヲ保チ松樹森鬱トシテ四百年前ノ盛時ナ偲バシム之レナ小谷城址トナス城ハ永正十三年九月淺井亮政ノ築ク所三代五十七年間ノ居城タリシが天正元年織田信長ノ		

攻陷スル所トナリ遂ニ廢絶ス

天龜元年淺井長政朝倉義景ト結ビ信長ニ抗ス信長亦家康ノ援ナ得両軍大ニ姉川ニ戰フ六月二十八日長政河ナ渡リ南軍ノ先鋒ヲ突破シ直ニ信長ノ營ニ迫ル會々朝倉軍ノ敗報ヲ得氣沮シ退カントス南軍翼ナ張リ包圍ス北軍大敗シテ小谷ニ退ク淺井氏復振ハズ

琵琶湖ノ北部ニ在リ竹生村ニ屬ス周圍一里ニ垂ントシ附屬ノ岩嶺一

ナ有ス最高ノ處湖面ヲ抜クコト六十尺ニ過ギズト雖湖光山色四方ナ

環リ水涯數丈ノ岩壁直立シ天工鬼斧奇絕云フベカラズ四方攀ツベキ

ナシト雖モ東南ニ一港アリ以テ船ヲ入ルニ足ル

郡	井	淺
	姉川古戰	
	竹生島	

(附錄)

九九

高秋香	十里煙波一葉舟	水風吹髮爽於秋
綺情笑我未刪得	醉墨來題天女洲	
同		

(附錄)

一〇〇

伊	郡井淺東
本ノ本	玉泉寺
淨信寺	虎姫村大字三川ニアリ天台宗榮光山ト號ス慈惠大師誕生ノ地ナリ
余吾湖	北國街道ト北國脇往還ト分ル所ニ位シ戸數一千人口四千八百ナ有シ郡内第一ノ都邑ニシテ郡役所、警察署、伊香銀行、江北銀行アリ夏秋兩度ニ牛馬ノ市ナ開キ盛ナル所ナリ 地藏尊ナ安置ス堂宇輪奂ノ美ナ極メ殿堂門庭臺ヲ並ベ賽客蹕ナ接シ梵唄ノ聲日夜絶ユルコトナシ元唐隔山金光善寺ト號シ難波ニアリシナ白鳳三年此ニ移ス弘仁十三年僧空海之ニ詣テ地藏經三卷ナ手寫シ之レナ納メ昌泰二年菅原道眞勅ナ奉ジテ此寺ニ至リ長祿山淨信寺ニ改ム世ニ木ノ本地藏尊ト稱シ其名顯ル 賤ヶ嶽ノ北方ニアリ東西十二町南北十八町周圍殆ンド二里其水流レテ余吾川トナリ又柳瀬川ト合シ南流シテ東淺井郡ニ入り朝日村ヨリ琵琶湖ニ注グ湖中ヨリ鯉鮎等多ク產スルナ以テ地方ノ住民漁業組合

郡	香
賤ヶ嶽	伊香具神社
チ組織シ其蕃殖ナ圖リ收利尠カラズト云フ	伊香具村大字大音ノ西嶺ニシテ余吾湖ノ南ニ躰踞ス西ハ鹽津村ニ至リ山南ノ一部直チニ琵琶湖ニ臨ミ東ハ一帶岩崎山、大岩山、蛭ヶ峰等ニ連ル絶頂ニ登リ四方ナ眺ムレバ北ハ山岳重疊シテ遠ク若越ノ境ナ壓シ南ハ平野相連リテ一望際涯ナ見ズ眼下ノ余吾湖ハ恰モ小鏡ノ如ク而シテ琵琶湖突角ニ中断セラレテ二湖ノ如シ故ニ山巔ヨリ下瞰スレバ宛然三湖ナ見ルガ如ク風景秀絶ナリ天正十一年四月羽柴秀吉柴田勝家ト戰ヒシ有名ノ古戰場ニシテ此役秀吉麾下ノ勇士加藤清正、福島正則、加藤嘉明、平野長泰、片桐且元、脇坂安治、糟屋助左衛門ノ七將長槍ナ揮ツテ能ク北軍ナ惱マセリ世ニ賤ヶ岳七本槍ト云フ明治十一年地方ノ有志相謀テ賤ヶ岳戰址ノ碑ナ建テ時ノ滋賀縣令籠手田安定氏其文ナ撰ス
伊香具村大字大音ニアリ祭神ハ伊香津臣命傳ヘ云フ天兒屋根命六代ノ孫伊香津臣命此地ニ來リ給ヒシニ湖水アリ田里未ダ開ケザルナ見	

(附錄)

一〇〇

伊	郡井淺東
木ノ本	北國街道ト北國脇往還ト分ル所ニ位シ戸數一千人口四千八百ナ有シ郡内第一ノ都邑ニシテ郡役所、警察署、伊香銀行、江北銀行アリ夏秋兩度ニ牛馬ノ市ナ開キ盛ナル所ナリ
淨信寺	地藏尊ナ安置ス堂宇輪奂ノ美ナ極メ殿堂門庭臺ナ竝ベ賽客踵ナ接シ梵唄ノ聲日夜絶ユルコトナシ元唐隔山金光善寺ト號シ難波ニアリシナ白鳳三年此ニ移ス弘仁十三年僧空海之ニ詣デ地藏經三卷ナ手寫シ之レナ納メ昌泰二年菅原道眞勅ナ奉ジテ此寺ニ至リ長祐山淨信寺ニ改ム世ニ木ノ本地藏尊ト稱シ其名顯ル
余吾湖	賤ヶ嶽ノ北方ニアリ東西十二町南北十八町周圍殆ンド二里其水流レナ余吾川トナリ又柳瀬川ト合シ南流シテ東浅井郡ニ入り朝日村ヨリ琵琶湖ニ注ゲ湖中ヨリ鯉鮎等多ク產スルナ以テ地方ノ住民漁業組合

郡	香
賤ヶ嶽	伊香具神社
チ組織シ其蕃殖ナ圖リ收利尠カラズト云フ	伊香具村大字大音ノ西嶺ニシテ余吾湖ノ南ニ懸距ス西ハ曉津村ニ至リ山南ノ一部直チニ琵琶湖ニ臨ミ東ハ一帶岩崎山、大岩山、峰ヶ峰等ニ連ル絶頂ニ登リ四方ナ眺ムレバ北ハ山岳重疊シテ遠ク若越ノ境ナ壓シ南ハ平野相連リテ一望際涯ナ見ズ眼下ノ余吾湖ハ恰モ小鏡ノ如ク而シテ琵琶湖突角ニ中断セラレテ二湖ノ如シ故ニ山巔ヨリ下瞰スレバ宛然三湖ナ見ルガ如ク風景秀絶ナリ天正十一年四月羽柴秀吉柴田勝家ト戰ヒシ有名ノ古戰場ニシテ此役秀吉麾下ノ勇士加藤清正、福島正則、加藤嘉明、平野長泰、片桐且元、脇坂安治、糟屋助左衛門ノ七將長槍ヲ揮ツテ能ク北軍ヲ惱マセリ世ニ賤ヶ岳七本槍ト云フ明治十一年地方ノ有志相謀ナ賤ヶ岳戰址ノ碑ナ建テ時ノ滋賀縣令籠手田安定氏其文ヲ撰ス
伊香具村大字大音ニアリ祭神ハ伊香津臣命傳ヘ云フ天兒屋根命六代ノ孫伊香津臣命此地ニ來リ給ヒシニ湖水アリ田里未ダ開ケヤルナ見	

(附錄)

一〇二

伊香郡	毛受兄弟 ノ墓	子孫ニ告ゲテ曰ク吾此地ニ止リ末代ヲ護ルベシト之レヨリ伊香郡ノ名アリ社殿ハ白鳳十年ノ創立ニシテ足利氏ノ世社領二百石ヲ付セラレシが後賤嶽ノ兵燹ニ罹リ衰微ス今縣社ニ列ス
菅山寺	菅原道實勅使トシテ登山寺堂ヲ修補ス故ニ菅山寺ト云フト	片岡村大字池原ニアリ賤ヶ嶽ノ役北軍大敗死陽算ナシ毛受兄弟敵ヲ拒テ戰死ス勝家間ナ得テ北ノ庄ニ還ルヲ得タリ
大溝町	近藤重藏 墓	余吾村大字坂口ニアリ天平寶字八年照燈上人ノ創立ニシテ寛平年中菅原道實勅使トシテ登山寺堂ヲ修補ス故ニ菅山寺ト云フト

大溝町大字勝野瑞雪院ニ在リ重藏ハ守重ト稱シ幕府ノ臣ナリ寛政中露入北邊ニ寇ス守重命ヲ受ケ遭露大使ニ從ヒ擇捉ニ至リ露入ノ標榜ヲ撤ス後其子ノ罪ニ座シ分部氏ノ邸ニ預ケラレ文政十二年病死ス年

島

五十九

藤樹書院	青柳村大字上小川ニアリ藤樹伊豫ノ大洲ヨリ此ニ歸臥シ良知ノ學ヲ講ジ餘念ナシ邸ノ西北隅ニ藤樹一株アリ故ニ取テ堂ニ名クト云フ堂其後火災ニ罹ル里人之ヲ惜ミテ再興セシモノ即チ今ノ堂ナリ堂内ニ其像ヲ安ンジ遺物亦少ナカラズ今一隅ニ藤樹文庫ト稱シ圖書館ヲ設ケ其業ヲ傳フ
化場	同地玉林寺ニ藤樹先生及三男常省先生ノ墓アリ常省ハ彌三郎季重ト號シ初ベ備前侯ニ仕ヘ後對馬侯ニ仕ヘタリシガ寶永六年退隱シテ此地ニ死セシ人ナリ門人常省先生ト謚ス
今津町	海津港ノ南約十餘町ノ所ニ在リ滋賀縣水產試驗場ノ附屬孵化場ニシテ琵琶湖ニ放流スペキ幾百萬ノ鱒ヲ孵化養殖ス

西近江路ト若狭海道ノ分歧スル所ニ位シ戸數八百人口四千六百ヲ有シ郡役所警察署區裁判所稅務署等ノ官衙アリ郡ノ首邑ニシテ又湖西ノ要港ナリ

(附錄)

一〇三

(附錄)

一〇四

郡	島	高	白石
大崎	高島宮址		
淺見綱齋 出生地	海津村ノ南ニアリ湖中ニ突出シ竹生島ト形影相對シ怪岩奇石ノ上老樹翁鬱トシテ頭ニ奇狀チナス大崎寺アリ千手觀音并ニ彌陀ノ像ナ安ス大前神社亦傍ニアリ須佐之男命チ祭ル		
新儀村ニ生ルト云フ少ニシテ京都ニ遊ビ山崎闍齊ノ門ニ學ブ嚴毅ニシテ威望アリ聞達ナ求メズ貧窶ニ安ジ慷慨自ヲ喜ブ近世處士ニシテ勤王ノ大義チ唱フル綱齋ニ始マル正徳元年卒ス年六十	彦杆王彦太王ノ三子ナ生ム彦太王後ニ皇嗣ニ立チ給フ之レヲ繼體天皇トス		
	彦杆王彦太王ノ三子ナ生ム彦太王後ニ皇嗣ニ立チ給フ之レヲ繼體天皇トス		

第二〇 貨幣ノ量目

貳拾圓金貨	四匁四分四厘四毛四(十六「グラム」六六六五)
拾圓金貨	二匁二分二厘二毛二(八「グラム」三三三三)
五圓金貨	一匁一分一厘一毛一(四「グラム」一六六六)
五拾錢銀貨	(三匁五分九厘四毛二(十三「グラム」四七八三)
貳拾錢銀貨	(二匁七分(十「グラム」一二五)三十九年六月一日ヨリ施行
拾錢銀貨	(一匁四分三厘七毛七(五「グラム」三九一四)
壹錢青銅貨	(六分(三「グラム」二五)三十九年六月一日ヨリ施行
五厘青銅貨	一匁二分四厘四毛一(四「グラム」六六五四)
	一分五厘〇四(三「グラム」五六四〇)

(附錄)

一〇五

第二二 貨幣度量衡内外比較

(尺度以下ハ、グラーグ氏ノ萬國貨
類韻府等ヨリ抄譯ス)

貨	幣(新金貨換算)	九圓七拾六錢參厘	貳圓六厘
マルク(獨)	四拾七錢八厘	參拾八錢七厘	八拾錢七厘
リラ(伊)	五拾參錢八厘	フロリン(蘭)	八拾錢六厘
クローヌ(瑞典、諾、丁)	貳圓拾六錢八厘	ペセタ(西)	參拾八錢七厘
ミルライス(葡)	八錢八厘	ヒヤステル(土)	八錢八厘
ヒヤステル(土)	貨幣ノ換算ハ之が市價ニ非ズシテ其純分ト純分トシ比較シテ計算セシモノナリ然レドモ其極微ノ點ニ至リテハ未ダ精密ニ涉レルモノト云フコトナ得ズ故ニ他日完全ノ調査得ルニ至ラバ或ハ尙少差ナキナ保シ難シ	ドルラル(北米)	ドルラル(北米)
尺 度	(長 短 尺)	フランク(佛、白、瑞西)	參拾八錢七厘

貨幣ノ換算ハ之が市價ニ非ズシテ其純分ト純分トシ比較シテ計算セシモノナリ然レドモ其極微ノ點ニ至リテハ未ダ精密ニ涉レルモノト云フコトナ得ズ故ニ他日完全ノ調査得ルニ至ラバ或ハ尙少差ナキナ保シ難シ

分(清)	一分一厘零々一三七	デシメートル(佛)	三寸三分
寸(清)	一寸一分零々一三七	メートル(佛)	三尺三寸
尺(清)	一尺一寸一毛三七	デカメートル(佛)	三丈三尺
丈(清)	十一丈一分三厘七毛	ヘクトメートル(佛)	三十三丈
引(清)	六厘九毛九六	キロメートル(佛)	三百三十丈
ライン(英、北美)	八分三厘八毛	リニー(塊)	七厘二毛二七
インチ(英、北美)	一尺五厘七毛	ツナル(塊)	八分六厘九毛二二
フート(英、露、北美)	フース(塊)	一尺四分三厘一毛六	六尺二寸五分九厘
ヤード(英、北美)	クラフト(塊)	六尺二寸六分三厘	六厘九毛九
ポール(一名ロット)(英、北美)	リニー(露)	七厘二毛	八分三厘九毛五
リニー(獨)	ドュイム(露)		

(附錄)

一〇八

ツナル(獨)	八分六厘二毛九	ウエルショック(露)	一寸四分六厘六毛
ラインフース(獨)	一尺三分五厘	アルシーン(露)	二尺三寸四分六厘九毛
エルレ(獨)	二尺二寸	サーゼン(露)	七尺四分七毛四
ルツツエー(獨)	一丈二尺四寸二分八厘九毛	メトロ(伊)	三尺三寸
ミリメートル(佛)	三厘三毛	チロメトロ(伊)	三百三十丈
一名リン			
サンチメートル(佛)			
一名ホウス	三分三厘		
ツオル(獨)	一寸二分四厘三毛	里(清)	五町六間
フース(獨)	一尺二寸四分三厘	哩(英)	十四町四十五間
ルツエー(獨)	二間四寸二分八厘	マイレ(塊)	一里三千三町三千二間三尺八寸
ウェルスト(露)	九町四十六間四尺	浬(英)	十六町五十八間三尺
エーグル(英、北米)	四段二十四步	エクタール(佛、蘭、白)	一町二十五步
ヨク(塊)	五段八畝一分弱	モルゲン(獨)	二段五畝三千二步二合二勺
斗 量 (常)	七勺八抄七七	ペツキ(英、北米)	一町一段四歩五合
デル(英、北米)	四十二坪七合三勺七抄五	バルレルブルグ(英、北米)	五升三勺七抄
ピント(全)	十六坪二合八勺一抄	クラフテル(全)	二斗一合四勺九抄六
クナルト(全)	百三十坪二合四勺八抄	コーム(全)	八斗五合九勺四抄
コルド(全)		ステール(佛、白、蘭)	三五坪九合三勺七抄
ボットル(全)			
ガルロン(全)	二升五合八勺七抄		
コツフ(清) (液)	二勺八抄八八	キロリツトル(佛)	五石五斗四升三合五勺强

(附錄)

一〇九

(附錄)

一一〇

シンゲツオング(清)	二合九勺九抄七	サイデル(塊)	一合九勺六抄一八
斗(清)	二升三合六勺	カンネー(塊)	三合九勺二抄四二六
エスセル(獨)			
クオルチール(獨)	三合一勺七抄五	マース(塊)	七合八勺四抄三五三
アイメル(獨)	六合三勺五抄	フヰールテル(塊)	七升八合四勺三抄五三
フレデル(獨)	四石五斗七升	ミリリツトル(佛)	三升四合八抄九八五
ミリリツトル(佛)	五圭五四三五二三五	サンチリツトル(佛)	五抄五四三五二三五
デシリツトル(佛)	五抄五四三五二三五	リツトル(佛)	五合五勺四抄三五二三五
リツトル(佛)	五合五勺四抄三五二三五	デカリツトル(佛)	五抄五四三五二三五
デカリツトル(佛)	五抄五四三五二三五	ヘクトリツトル(佛)	五斗五升四勺三抄五三五
ヘクトリツトル(佛)	五斗五升四合三勺五抄三五		

ユツブ(清)

(穀量)

四勺二抄四六

ベツヘル(塊)

二合六勺五抄六四五

トウ(清)	四升二合五勺二抄	グラインズ、マスセル(塊)	五合三勺二抄二八九
シイ(清)	六斗七升八合一勺	グロセス、マスセル(塊)	一升六勺五抄零二
マスセン(清)	四合七勺六抄三	アフテル(塊)	四升二合六勺二抄二
メーヴ(清)	一升九合七抄一二	フヰールテル(塊)	八升五合二勺一抄四
フヰールテル(清)	七升六合一勺六抄四七	マーチー(蘭)	五勺五抄四三五二三五
セフェル(清)	三斗四合六勺五抄八八	コツブ(蘭)	五合五勺四抄三五二三五
マルテン(清)	三石六斗五升五合九勺	シケツベル(蘭)	五升五合四勺三抄五三五
セチエ(佛)	五斗五升四合三勺五抄二三五	セチエ(蘭)	五斗五升四合三勺五抄强
ステール(佛)	五石五斗四升三合五勺二抄三五		

(衡量)

一分零々八	頤(英、北米)二百七十貫九百五十三匁
一匁八毛	ミリグラム(佛)
十匁八厘	二絲六六六七
百六十一匁二分八厘	センチグラム(佛)
デシグラム(佛)	二厘六毛六六七

(附錄)

一一一

引擔(インゴル) 石(クレ)清(シイ)	三百二十二匁五分六厘 十九貫三百五十三匁八分 スクルブル(英、北米)	十六貫百二十八匁 一厘七毛二八 三分四厘五毛六	グラム(佛) デカグラム(佛) ヘクトグラム(佛)	二分六厘六毛六七 二分六厘六毛七 二百六十六分六厘七毛
ドラム(英、北米)	一匁三厘六毛八	ブート(露)	キログラム(佛)	二百六十六分七厘
チанс(英、北米)	七匁五分六厘	フント(露)	キログラム(佛)	百九匁四厘
ポンド(英、北米)	百二十匁九分六厘	グランマ(伊)	四貫三百六十二匁	二分六厘六毛六七
ストーン(英、北米)	一貫六百九十三匁四分六厘	チログランマ(伊)	二分六厘六毛六七	二百六十六分七厘
クナルトル(英、北米)	三貫三百八十六匁八分	クインダルメ	トントン(伊)	二十六貫六百六十七匁
ハンドレットウェ	一ト(英、北米)	トリシ(伊)	トントン(伊)	二百六十六貫六百七十匁
	十三貫五百四十七匁			

滋賀縣

大正元年九月十五日印刷
大正元年九月二十日發行

滋賀縣大津市上京町第拾六番屋敷

印刷所 大津商報社 印刷人 田村與三郎

270
762

終

